くろゆり通信

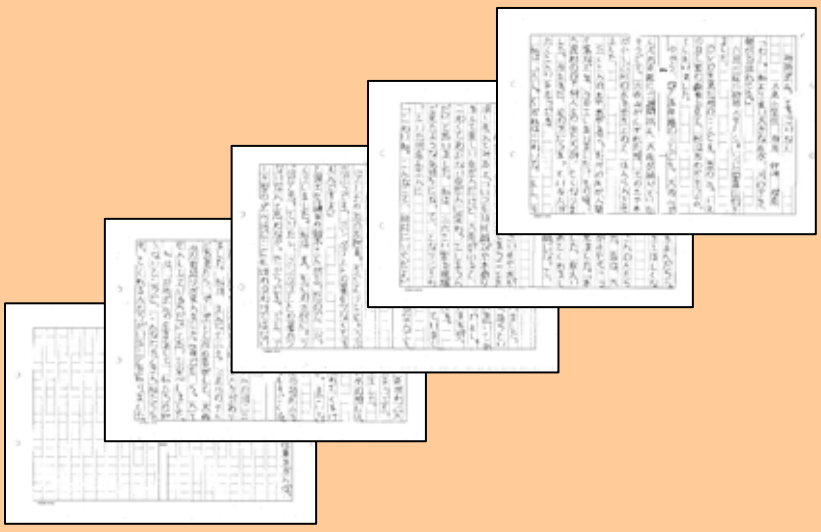
第44号　平成１９年３月発行
発行者　国土交通省中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
小渋川砂防出張所
小渋川砂防安全協議会

「土砂災害防止に関する作文コンクール」国土交通省事務次官賞受賞の大鹿小学校四年生、伊波瑠奈さんの表彰式が行われました。

昨年六月一日に天竜川上流河川事務所主催にて行われた「砂防見学会」に参加された大鹿小学校四年生の伊波留奈さんが、「土砂災害防止に関する作文コンクール」にて国土交通省事務次官賞を受賞されました。

表彰式が二月二十一日午後一時大鹿小学校校長室にて行われ、長野県より飯田建設事務所長が来校され伊波さんに表彰状を授与されました。

伊波さんの作文には自分の住む大鹿村がかつて三六災害の時に、大変な被害を被りその様な災害が絶対におきてほしくない、又砂防と言う事がどれだけ大切な事か学習を出来たと書かれてありました。



砂防ダムってすごいなー
大鹿小学校　四年　伊波　瑠奈
「わー。私より重い大きな石が、川の中を軽がる流れてる。」
六月一日に砂防ステーションに学習に行きました。
DVDを見た時のことです。昔のニュースの白と黒の画面を見て、私は思わずそう言ってしまいました。
今から、四五年前のことです。大西山がくずれる前に一週間以上、大雨が続いていたそうです。
中略
私は、砂防ダムの学習をして、私たちの知らないところで、こんなにたくさんの私たちを守ってくれる人たちがいることを知りました。
これからもわたしたちのためにお仕事がんばってほしいと思いました。

紙面の関係上全文の掲載が出来ない事をお詫びいたします。

大鹿村の自然を求めて

大鹿雪山ネイチャーウオッチング

写真は熊棚と呼ばれる物で、秋、熊が冬眠前栄養を付ける為、木の上で木の実を食べる時に作ります、人の目に触れることはかなり珍しい事らしいのですが、自然が間近に有る大鹿村では、冬、木の葉が落ちた木々の中でたまに見かけることが出来るらしいのです。

日本でもっとも美しい村を目指す大鹿村は、日本一自然に近い村で有るのかも知れません。

作業内容の紹介

工事名　平成18年度　単価契約　小渋川出張所管内緊急作業
施　工　株式会社　吉野組

現場代理人　丸山　隆

株式会社　吉野組
長野県下伊那郡大鹿村大河原399-1
TEL　0265－39－2000
FAX　0265－39－2040

現場代理人の丸山　隆です。
小渋川砂防出張所管内の砂防施設においての災害復旧等緊急を伴う作業に従事しております。
下記の作業は昨年7月末の豪雨において小渋川河原に堆積した流木を撤去した模様です。
河川内の堆積流木は土石流などの発生原因の一つとされ、撤去することにより災害等が未然に防げると考えられております。

作業前

大河原流木撤去作業
→

完了